

団体名	兵庫丹波オオムラサキの会		
団体の所在地	丹波市柏原町	代表者名	樋口 清一

1. 事業名	国蝶・オオムラサキが舞う里山づくり
2. 実施期間	平成26年4月～平成27年3月
3. 主な実施場所	篠山市および丹波市
4. 活動形態	普及啓発活動 調査活動
5. 活動内容・結果 (参加者、階層・人数等)	<p>①オオムラサキを飼育する学校は2校増え、20校となった。</p> <p>②環境支援学習(オオムラサキの学習)は延べ31回(内出前授業23回)数え、学んだ児童は750名を超えた。</p> <p>③「兵庫丹波オオムラサキの会」記念講演会では、会員以外の一般者にも参加を呼びかけ、地域の活動家やリーダーなどを含め35名が参加した。</p> <p>④「オオムラサキ通信」を年2回発行し、会員、篠山市、丹波市内全小学校・幼稚園、連携協力施設、両市公民館等へ配布し「兵庫丹波オオムラサキの会」の活動や、里山復活のシンボルとしての「国蝶オオムラサキ」を理解してもらう活動となった。</p> <p>⑤放蝶会は8学校・施設で実施し、中には、地域の放蝶会は行事となっているところもある。また、丹波の森公苑での放蝶会は6年目となり、120名を超える参加者があり、80匹を放蝶した。</p>
6. 成果・反響・反省点等	<p>①環境学習支援活動により、篠山市・丹波市内の小学生が、ふるりの自然や里山、そのシンボルとしての「国蝶オオムラサキの復活」の大切さ学ぶ機会が増えてきている。このことにより、子どもから親に、そして親から地域にと「オオムラサキ」の理解と「兵庫丹波オオムラサキの会」の活動が認知されてきている。</p> <p>②26年度成虫(蝶)は森公苑で150匹を超える。産卵は10施設で確認。1齢幼虫は7施設で確認。越冬幼虫は7施設で確認できた。</p> <p>③オオムラサキの生息調査により、篠山市の東部地域にはオオムラサキが以前より広範に自然繁殖していることが確認できた。</p>
7. 成果物	<p>①オオムラサキ復活大作戦」のぼり作成(10本)</p> <p>②「オオムラサキ調査中」腕章作成(10枚)</p> <p>③「オオムラサキ通信」作成(2発行)</p>

8. 活動写真・説明



環境支援学習(出前授業)の様子



第6回放蝶会の様子



「兵庫丹波オオムラサキの会」講演会の様子